



1 ウエディングブーケは、一人ひとりの好みや希望をしっかり聞いて丁寧に仕上げる。2 壁などの内装は、自分たちで仕上げたという手作りのアトリエ。3 ブーケなどの記念に残したい花は、注文を受け、箸置きや押し花に仕上げる。4 「今は目の前のことを精一杯やるだけ」とサカザキさん



師匠との出会いで知った
フラワーデザインの仕事
多い時には、一日4〜5件のブライダルを手がけるといって、フラワーデザイナーのサカザキさん。平日はレッスンもあるため、大忙しの日々だ。現在のアトリエを開いたのは、3年前。それまでは2年間、自宅で開業していた。
「特に花が好きだったから、という訳ではなかったですね。私の場合、人との出会いがすべて」。アレンジメントを作ってもらったことがきっかけで、フラワーデザインの師匠となる人物と出会った。「なんて素敵に生きているんだらう」。その生き様、人柄に引かれてスクールに通い始めた。「師匠はももちろん、生徒さんなど、多くの人に支えられてきた結果が、今。毎日フル稼働ですが、一生の仕事を見つけてことができました」

かけ足の日々。 素敵に生きるという夢に 少しは追いついたかも

きっかけ

フラワーアレンジメントを作ってもらう機会があり、師匠となるフラワーデザイナー池田ナオミさんと出会う。そこで初めて、フラワーデザイナーという仕事があることを知る。

1997年
8月

スクールに通う

池田さんの人柄に引かれ、「自分もこのように生きたい」と強く思うようになる。池田さんが在籍する「マナコフラワーアカデミー」に入学し、フラワーデザインを学び始める。

1997年
10月

自宅で開業

自宅で開業。花束一つからの受注だったこともあり、準備期間、開業資金はほとんどなし。レッスンも行い、知合いのツテや口コミで徐々に生徒数も増える。

2000年
4月

アトリエオープン

レッスンを落ち着いた土地で行いたいと考え、現在の場所を借りて、アトリエをオープン。当初は、お客も少なく「どうなるのか」と思ったこともあるが、徐々に生徒、顧客数も増える。ウェルカムボードのHP販売も始める。

2002年
4月

'97年10月~'02年4月までの総支出
93万5250円

アトリエ開業費 約10万円

自宅開業時はほとんどかかった費用はなし。アトリエは極力出費を抑えるため、壁を塗るなどの内装は、自分たちで行った。そのため、改装費用は、ペンキなどの実費のみで済んだ。

スクール受講料 83万5250円

(入会金5250円、受講料33万円、教材費50万円 ※受講回数200回) 支出のうち主なものがスクールの受講料。目指すきっかけとなったフラワーデザイナーが講師を務めていたこともあり、「マナコフラワーアカデミー」に入校を決める。

オーナーの一日 仕入れ



午前8時、注文を確認し、市場に花を仕入れに行く。店に運んだ後は、鮮度・状態をチェック。

アレンジ・ブーケ作成
午前11時〜。よりよい状態でお客さまに届けるため、納品時間の直前にアレンジメントやブーケなどを作成する。



レッスン
午後7時30分スタート。レッスンは週に5回、1回につき約2時間行う。イレギュラーのレッスンが入ることも。

Profile

サカザキリョウウさん 32歳
「グリーンネックレス」代表
フラワーデザイナー・講師
大学卒業後、一般企業に営業職で就職。その後2年半フラワーデザインスクールに通い、自宅で開業。2年後にアトリエを構え、現在ブーケなどウエディング関係を主に手がける。

